

になる。

$$6.8035 \times 759,856 \text{ 人 (水上バス年間乗船者数)} + 18967 \times 365 \text{ 日} \\ = 1,209 \text{ 万 } 2,635 \text{ 人}$$

なお、浅草寺方面の歩行者交通量は、9時～17時の間を対象としているが、図 2-44～47 に示した時間帯別の交通量の推移を眺めると(平成 20 年 3 月の調査結果)、夕刻に向けて交通量が収束しており、浅草寺の入場者を概ね捉えられていると考えることができる。

図 2-44 雷門 歩行者交通量調査の結果

調査地点：雷門			調査日：H.20 3/6 3/23			
	調査方向			調査方向案内図		
	平日	-	休日			
9:00 ~ 10:00	612	-	2726			
10:00 ~ 11:00	1439	-	3648			
11:00 ~ 12:00	1986	-	4348			
12:00 ~ 13:00	1533	-	5692			
13:00 ~ 14:00	1993	-	4021			
14:00 ~ 15:00	1442	-	5583			
15:00 ~ 16:00	1227	-	3234			
16:00 ~ 17:00	1230	-	2461			
合計	11462	-	31713			

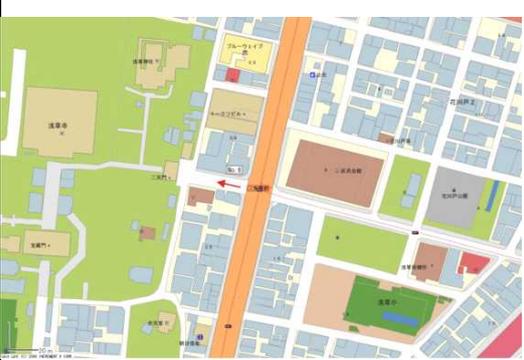
図 2-45 新仲見世入口 歩行者交通量調査の結果

調査地点：新仲見世入口			調査日：H.20 3/6 3/23			
	調査方向			調査方向案内図		
	平日	-	休日			
9:00 ~ 10:00	582	-	979			
10:00 ~ 11:00	724	-	1603			
11:00 ~ 12:00	973	-	1895			
12:00 ~ 13:00	1090	-	2252			
13:00 ~ 14:00	909	-	2175			
14:00 ~ 15:00	876	-	2008			
15:00 ~ 16:00	902	-	1704			
16:00 ~ 17:00	800	-	1521			
合計	6856	-	14137			

図 2-46 T X 浅草駅周辺 歩行者交通量調査の結果

調査地点：T X 浅草駅周辺			調査日：H.20 3/6 3/23	
	調査方向			調査方向案内図
	平日	-	休日	
9:00 ~ 10:00	286	-	1164	
10:00 ~ 11:00	317	-	1252	
11:00 ~ 12:00	551	-	1533	
12:00 ~ 13:00	365	-	1775	
13:00 ~ 14:00	350	-	1586	
14:00 ~ 15:00	274	-	1335	
15:00 ~ 16:00	257	-	901	
16:00 ~ 17:00	240	-	658	
合計	2640	-	10204	

図 2-47 二天門前 歩行者交通量調査の結果

調査地点：二天門前			調査日：H.20 3/6 3/23	
	調査方向			調査方向案内図
	平日	-	休日	
9:00 ~ 10:00	225	-	787	
10:00 ~ 11:00	362	-	753	
11:00 ~ 12:00	219	-	821	
12:00 ~ 13:00	108	-	832	
13:00 ~ 14:00	278	-	836	
14:00 ~ 15:00	163	-	915	
15:00 ~ 16:00	358	-	844	
16:00 ~ 17:00	249	-	357	
合計	1962	-	6145	

次に、浅草地区の総入込み数に対する浅草寺の入場者数割合について、着地側調査結果を用いて推計する。表 2-26 は、観光施設の入場に加えて、「寺社参拝」及び「散策」の実施率を示したものである。

表 2-26 観光施設入場・散策の実施率（浅草地区）

浅草地区				
観光施設入場	寺社参拝	散策実施	サンプル数	割合
			50	13.7%
		×	18	4.9%
	×		4	1.1%
	×	×	7	1.9%
×			202	55.2%
×		×	53	14.5%
×	×		18	4.9%
×	×	×	14	3.8%
			実施 × 非実施	

その結果、観光施設への入場、寺社参拝、散策のいずれも実施しない来訪者は 3.8%であることから、浅草地区の総入込み数に対する浅草寺への入場者数割合は 96.2%を占めると推測する。

なお、来訪者全体に占める台東区民以外の割合は、96.4%であった。

C : 歩行者交通量を基に推計（浅草）

以上の分析より、「歩行者交通量」を基に推計した、浅草地区における「年間総入込み数」は、以下ようになる。

浅草地区；

$$1,209 \text{ 万 } 2,635 \text{ 人 (浅草寺方面の年間歩行者交通量)} \div 0.962 \text{ (浅草地区の総入込み数に占める浅草寺の入場者数割合)} \times 0.964 \text{ (台東区民以外の来訪者比率)}$$

$$= \underline{1,211 \text{ 万 } 7,775 \text{ 人}} \quad \text{約 } 1,211.8 \text{ 万人}$$

(5) 平常時における年間観光客数の推計

以上の計算により推計した上野・浅草各地区の年間総入込み数は、表 27 に示した通りである。上野地区の鉄道駅降客数を用いた推計値がやや高くなっている他は、両地区ともに、複数の推計手法でほぼ等々の年間入込み数を求めることができた。

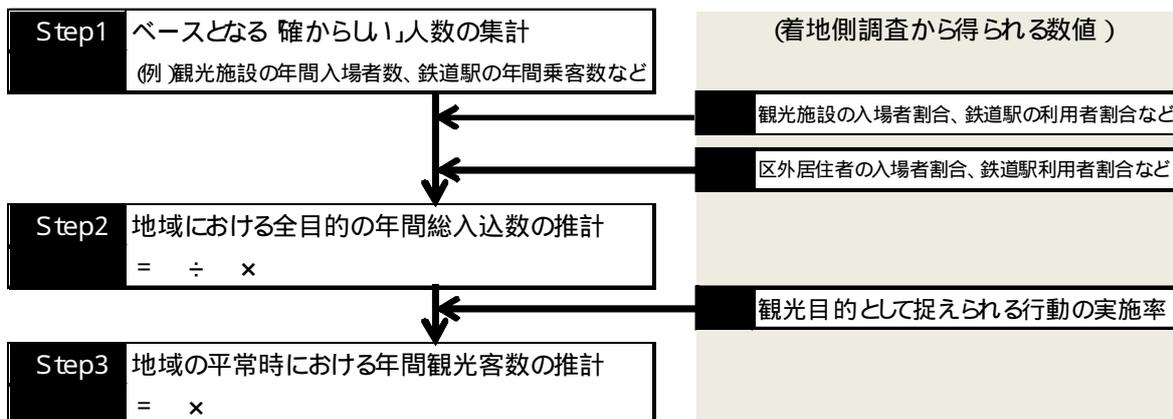
表 27 各地区における年間総入込み数の推計値

(この表の推計値は、図 2-48 推計フローのうち、Step2 の部分である)

	年間入り込み数(推計)	
	上野地区	浅草地区
A: 観光施設の年間入場者数に基づく推計	1,335 万 1,177 人	
B: 鉄道駅における年間降客数に基づく推計	1,708 万 3,939 人	1,121 万 9,640 人
C: 歩行者交通量に基づく推計	1,230 万 8,517 人	1,211 万 7,775 人

(6) 観光目的として捉える行動の実施率

図 2-48 平常時における年間観光客数の推計フロー(再掲)



行動の実施率への参入項目

観光目的として捉える行動の実施率について、本調査では以下の通り定義し、**推計に参入した**。

文化観光施設への入場をした来訪者

「楽しみのための行動」(自分で「行きたいと思った店」で「買いたい(飲食したい)もの」を購入した、飲食した)を実施した来訪者

浅草地区に限り、寺社参拝を行った来訪者

散歩・散策

上記行動の同時又は並行実施

なお、着地調査で把握した下記の活動は観光客推計値に**参入していない**。

職場への出勤・学校への通学

職場外の業務・商用・出張

その他私用

以上の要件に該当する割合(実施率)を示したのが表 2-28 である。その結果、上野地区では年間総入込み数の 85.9%、浅草地区では年間総入込み数の 95.6%が該当すると推計した。

表 2-28 観光目的として捉える行動の実施率

上野地域(広小路口サンプル・ウェイト付加後)				
観光施設入場	楽しみのための行動	サンプル数	割合	
		200.5	21.9%	
	×	499.0	54.6%	85.9%
×		85.0	9.3%	
×	×	129.0	14.1%	
			実施	× 非実施

浅草地域				
観光施設入場	楽しみのための行動	寺社参拝	サンプル数	割合
			35	9.6%
		×	3	0.8%
	×		33	9.0%
	×	×	8	2.2%
×			134	36.6%
×		×	16	4.4%
×	×		121	33.1%
×	×	×	16	4.4%
			実施	× 非実施

以上を整理し両地区の平常時における年間観光客数を、以下の通り推計した。

上野地区	年間入り込み数(推計)	
A: 観光施設の年間入場者数に基づく推計	$13,351,177 \times 0.859$	11,468,661 人
B: 鉄道駅における年間降客数に基づく推計	$17,083,939 \times 0.859$	14,675,103 人
C: 歩行者交通量に基づく推計	$12,308,517 \times 0.859$	10,573,016 人

浅草地区	年間観光客入り込み数(推計)	
A: 観光施設の年間入場者数に基づく推計		
B: 鉄道駅における年間降客数に基づく推計	$11,219,640 \times 0.956$	10,725,975 人
C: 歩行者交通量に基づく推計	$12,117,775 \times 0.956$	11,584,592 人

5-3. プロセス2：イベント入場者数の集計

平成20年（1月～12月）に開催された、主な祭礼、祭事、地区振興イベントの入場者数について、主催者発表に基づき整理したものが表2-29である。

表2-29 イベント入場者数（平成20年）

	イベント名	入場者数
浅草	初詣3ヶ日（浅草寺）	2,210,000
	*江戸流しびな	8,500
	桜橋花祭り	177,000
	浅草流鏝馬	23,000
	泣き相撲	1,800
	三社祭	1,700,000
	*隅田公園桜祭り	1,000,000
	下町七夕まつり	387,000
	隅田川花火大会	908,000
	浅草サンパカーニバル	400,000
	東京時代まつり	420,000
	*靴のめぐみ祭り	50,000
	*はきだおれ市	50,000
	*浅草菊花展	1,650,000
	*浅草ほおづき市	600,000
	*酉の市	650,000
	浅草今昔展	71,607
	奥山風景	2,750,000
	にぎわくウオーキング	1,300
	映画祭	85,000
絵馬展（浅草寺）	70,910	
	浅草地区小計	13,214,117
上野	入谷朝顔まつり	203,000
	*谷中まつり	90,713
	上野夏祭りパレード	120,000
	うえの桜まつり	1,916,546
	上野地区小計	2,330,259
	*は前回（平成17年）調査時のデータ	

浅草地区 約1,321.4万人 × (100.00%-30.65%) (浅草地区の総入込み数に占める観光施設入場者数割合) × 96.4% (台東区民以外の来訪者比率) **約883.4万人**

上野地区 約233.0万人 × (100.00%-64.86%) (上野地区の総入込み数に占める観光施設入場者数割合) × 98.2% (台東区民以外の来訪者比率) **約80.4万人**

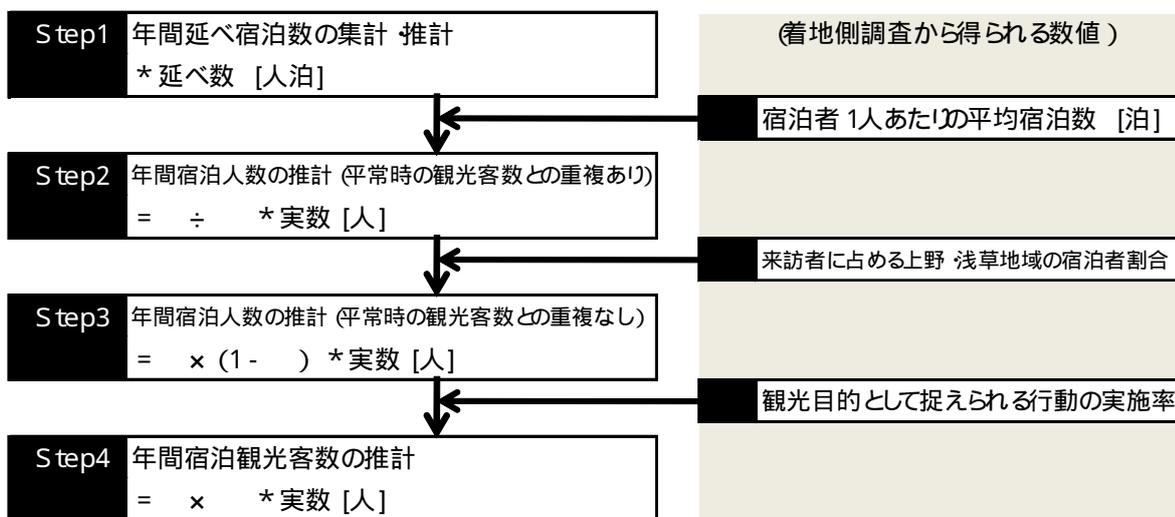
5-4. プロセス 3 : 宿泊観光客数の推計

(1) 年間宿泊観光客数の推計

年間宿泊観光客数の推計フローを図 2-49 に示す。

Step1 として、宿泊施設へのアンケート調査・ヒアリング調査を実施し、年間延べ宿泊数を集計・推計する。その上で、着地側調査結果から、宿泊者 1 人あたりの平均宿泊数を求め、Step1 で得た延べ宿泊数を平均宿泊数で割ることで年間宿泊人数の実数が推計できる (Step2)。次に、着地側調査の結果を基に、来訪者に占める上野・浅草地区の宿泊者割合を求め、上野・浅草地区を訪れていない年間宿泊人数を推計し (Step3)、最後に、観光目的として捉える行動の実施率を乗じて、年間宿泊観光客数を推計する (Step4)。なお、この段階では日本人客のみを対象とし、外国人観光客に関する推計は次節で述べる。

図 2-49 年間宿泊観光客数の推計フロー



(2) 年間延べ宿泊数の集計

アンケート調査は台東区ホテル旅館協会の会員を対象とした。(表 2-30) このうち、上野地区では 62.1%、浅草地区では 75.0%の回収率であった。

回収できた宿泊施設の年間延べ宿泊数(日本人のみ；外国人については次章で集計・推計する)は、上野地区では 275,456[人泊]、浅草地区では 727,968[人泊]である。なお、未回収の宿泊施設を含めた年間延べ宿泊数は以下の通り推計する。

$$\text{上野地区} \quad 275,456[\text{人泊}] \div 0.621 = 443,568[\text{人泊}]$$

$$\text{浅草地区} \quad 727,968[\text{人泊}] \div 0.750 = 970,624[\text{人泊}]$$

表 2-30 平成 20 年（1～12 月）宿泊客数

番号	場所	種類	施設名	住所	日本人宿泊者	外国人宿泊者	計	外国人割合	回収率
1	上野	ホテル	セレッソ	根岸二丁目6番1号					
2	上野	ホテル	水月ホテル鷗外荘	池之端三丁目3番21号					
3	上野	ホテル	きぬやホテル	上野二丁目14番28号					
4	上野	ホテル	ホテル 観月荘	上野二丁目14番28号					
5	上野	ホテル	上野ファーストシティホテル	上野一丁目14番8号					
6	上野	旅館	ビジネスホテル福寿	上野三丁目21番7号					
7	上野	ホテル	ホテル 丸谷	上野六丁目7番6号					
8	上野	ホテル	ホテル 松本	上野七丁目5番3号					
9	上野	旅館	ホテル 福屋	上野七丁目5番2号					
10	上野	ホテル	ホテル ニューウエノ	上野七丁目2番5号					
11	上野	ホテル	ホテル アスティール 上野	上野七丁目7番1号					
12	上野	ホテル	ツーリストホテル	東上野三丁目18番11号					
13	上野	ホテル	東金屋ホテル	東上野三丁目17番5号					
14	上野	旅館	ホテル 山百合	東上野二丁目19番5号					
15	上野	ホテル	ビジネスホテル やなぎや	東上野二丁目19番4号	275,456	73,855	349,311	21.1%	62.1%
16	上野	ホテル	上野ターミナルホテル	東上野二丁目21番11号					
17	上野	ホテル	ニュー伊豆ホテル	東上野三丁目13番1号					
18	上野	ホテル	ホテルニュー東北	東上野三丁目14番2号					
19	上野	ホテル	チサンホテル上野	東上野五丁目5番6号					
20	上野	ホテル	入谷アーバンホテル	入谷一丁目25番6号					
21	上野	ホテル	ホテル パークサイド	上野二丁目11番18号					
22	上野	旅館	アネックス勝太郎旅館	谷中三丁目8番4号					
23	上野	旅館	旅館寿々木	谷中七丁目15番23号					
24	上野	旅館	沢の屋	谷中二丁目3番11号					
25	上野	旅館	山中旅館	池之端四丁目23番1号					
26	上野	旅館	旅館勝太郎	池之端四丁目16番8号					
27	上野	旅館	株式会社 小松屋旅館	上野六丁目13番2号					
28	上野	旅館	きぬや本館	上野六丁目8番11号					
29	上野	旅館	ホテル 小松	上野七丁目2番21号					
30	浅草	旅館	筑波ホテル	元浅草二丁目7番8号					
31	浅草	旅館	東横イン浅草千束	千束一丁目15番1号					
32	浅草	ホテル	浅草ビューホテル	西浅草三丁目17番1号					
33	浅草	ホテル	ホテルユニゾ浅草	浅草一丁目9番2号					
34	浅草	ホテル	浅草ピスタホテル	寿二丁目2番9号					
35	浅草	ホテル	ホテル 蔵前	蔵前三丁目7番1号					
36	浅草	旅館	ホテル マーキュリー	浅草橋二丁目1番9号					
37	浅草	ホテル	ホテル柳橋	柳橋一丁目3番12号					
38	浅草	ホテル	ベルモントホテル	柳橋一丁目2番8号					
39	浅草	ホテル	チサンイン浅草	駒形一丁目4番17号					
40	浅草	旅館	浅草プラザホテル	浅草一丁目2番3号					
41	浅草	ホテル	ブルーウェーブイン浅草	浅草二丁目33番7号					
42	浅草	旅館	ホテル浅草 三河屋	花川戸二丁目7番11号					
43	浅草	ホテル	ホテルミュウ	花川戸二丁目14番2号					
44	浅草	ホテル	ホテルスカイコート浅草	浅草六丁目35番8号					
45	浅草	ホテル	ホテルニューアオキ	千束四丁目23番3号	727,968	139,909	867,877	16.1%	75.0%
46	浅草	ホテル	ホテルサンルート浅草	雷門一丁目8番5号					
47	浅草	ホテル	ドーミーイン浅草	花川戸一丁目3番4号					
48	浅草	ホテル	浅草セントラルホテル 本館	浅草一丁目5番3号					
49	浅草	旅館	オークホテル	東上野六丁目1番2号					
50	浅草	簡易宿所	ホテル カワセ	雷門二丁目19番14号					
51	浅草	旅館	喜久屋旅館	西浅草二丁目18番9号					
52	浅草	旅館	ホテル栃木屋	西浅草二丁目25番3号					
53	浅草	旅館	ホテル真千代	浅草二丁目20番1号					
54	浅草	旅館	ホテル衣	浅草二丁目17番8号					
55	浅草	旅館	ホテル ホワイトイン	浅草二丁目14番10号					
56	浅草	旅館	ホテル 栃木屋本店	浅草三丁目7番2号					
57	浅草	旅館	加茂川旅館	浅草二丁目25番1号					
58	浅草	旅館	旅館 浅草指月	浅草一丁目31番11号					
59	浅草	旅館	三河屋本店	浅草一丁目30番12号					
60	浅草	旅館	ホテル雷門	浅草一丁目18番2号					
61	浅草	ホテル	ホテルニュー魚眠荘	雷門二丁目20番4号					

表 2-31 調査日前後の宿泊

調査項目	上野 (N=666)	浅草 (N=366)
1泊 (調査日前日のみ宿泊)	3.9%	10.1%
1泊 (調査日当日のみ宿泊)	2.1%	5.2%
2泊以上 (調査日前日・当日の宿泊)	3.3%	6.8%
平均宿泊数	1.35 泊/人	1.31 泊/人

(3) 年間宿泊人数の推計

宿泊者1人あたりの平均宿泊数を求め、年間宿泊人数の実人数を推計する。表2-31は、着地側調査から得た宿泊者割合と宿泊者の平均宿泊日数を示したものである。なお、「調査日前日」と「調査日当日」の双方に宿泊した回答者は全て「2泊」とであると仮定した。そのため、本来の平均宿泊日数よりも短く算出されていることに留意する必要がある。

以上の計算の結果、上野地区は1.35[泊]、浅草地区は1.31[泊]になった。したがって、年間宿泊人数（実人数）は、以下の通り推計する。

$$\text{上野地区 } 443,568[\text{人泊}] \div 1.35 = 328,569[\text{泊}]$$

$$\text{浅草地区 } 970,624[\text{人泊}] \div 1.31 = 740,934[\text{泊}]$$

(4) 年間宿泊観光客数の推計

年間宿泊人数は、実人数ベースの推計値であるが、台東区内に宿泊して、上野・浅草地区を訪れた観光客も含むと考える。したがって、「二重カウント」になることがある。

表2-32は、着地側調査で得た来訪者の宿泊先を市町村別に集計したものである。「不明・車中泊」を除いたサンプルを対象に、来訪者に占める上野・浅草地区の宿泊者割合を求めると以下ようになる。

$$\text{上野地区 } 4 \div 80 = 5.0\%$$

$$\text{浅草地区 } 18 \div 95 = 18.9\%$$

表2-32 来訪者の宿泊先（市区町村別集計）（再掲）

上野				浅草			
	前泊	後泊	計		前泊	後泊	計
港区	6	5	11	台東区	12	6	18
千代田区	5	3	8	新宿区	5	8	13
品川区	5	3	8	品川区	9	3	12
大田区	3	3	6	千代田区	7	2	9
横浜市	3	1	4	港区	4	0	4
中央区	3	1	4	浦安市	3	1	4
台東区	1	3	4	中央区	3	0	3
その他 都内	11	11	22	その他 都内	8	8	16
その他	9	4	13	その他	7	9	16
不明・車中泊等	2	2	4	不明・車中泊等	4	7	11
計	48	36	84	計	62	44	106

以上の結果から、日本人の年間宿泊人数(上野・浅草地区における平常時の観光客数と重複しない)を地区別に集計すると以下の通りになる。ただし、推計値には業務目的のみの人数も含む。

上野地区・年間宿泊人数；312,141人（外数、業務を含む）

浅草地区・年間宿泊人数；600,897人（外数、業務を含む）

6. 外国人旅行者に関する分析

6-1 台東区内における外国人旅行者の行動

(1) 調査方法

外国人旅行者が台東区内で実際にとった行動を把握することを目的に、本調査は、台東区内の宿泊施設を利用した外国人旅行者を対象に表 2-33 に示した要領で「外国人旅行者調査」を実施した。なお、宿泊施設には、日本人旅行者(宿泊者)に対する調査も併せて依頼した。

表 2-33 外国人旅行者調査の実施概要

配布・回収方法	区内の宿泊施設に対し、旅行者への調査票配布・回収を依頼。旅行者が直接回答する形式を採った。 以下の宿泊施設から有効回答を得た。 【上野地区調査票】澤の屋、山中旅館、上野ファーストホテル、ニュー上野ホテル 【浅草地区調査票】入谷アーバンホテル、ツクバホテル
調査期間	平成 20 年 12 月～平成 21 年 1 月
使用言語	日本語・英語・ハングル・中国語(簡体・繁体)
有効回答数	61 サンプル(うち、日本人 17 サンプル)

外国人旅行者調査の内容は表 2-34 に示した通りであるが、前節までの着地側調査とほぼ同様の質問内容とした。両地区の質問票は付録に収録した。

表 2-34 調査項目・内容

調査項目	調査内容
各地区の来訪目的	・上野・浅草各地区を来訪した主要目的
各地区でとった行動	・各地区でとった行動(行動別に有無を質問) ・飲食・買物に関する特別な意図の有無 「行きたかった店」で「買いたかった(飲食したかった)商品」を購入したか否か
1日の行動について	・一日の行動を開始した場所から上野・浅草地区を訪れるまでの行動 ・上野・浅草地区を出発して、一日の最後に到着した場所までの行動
外出について	・台東区内で立ち寄った観光施設 ・一年間で台東区と上野・浅草地区に訪れた回数 ・上野・浅草地区に関する情報源 ・今回の外出(お出かけ)に関する消費額
外出の同行者	・今回、外出時の同行者の属性及び人数
各地区の印象・評価	・上野・浅草各地区の印象・総合評価
個人属性	・回答者の性別、年代、職業、通勤通学先の住所、居住地の住所